

福島経済マンスリー

1月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2017年1月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では2カ月連続で前年を下回った。一方、新車登録台数は3カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額、保証金額が2カ月ぶりでいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数と床面積が3カ月連続で前年を下回ったものの、工事費予定額は3カ月ぶりで前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は7カ月ぶりで前年を下回った。主な利用関係別にみると、持家が2カ月ぶり、分譲が3カ月連続でそれぞれ前年を上回ったものの、貸家が7カ月ぶりで前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が△2.6%、前年比が△4.3%となった。業種別の前月比をみると、8業種で上昇したが、11業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.03ポイント、原数値が前年同月比△0.01ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△0.5%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は12月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	2017年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 1.8	△ 2.0	0.8	0.4	△ 1.3	P△ 0.9
	乗用車新車登録台数	2.1	△ 0.6	△ 0.7	3.9	12.8	3.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	77.1	59.8	△ 6.8	△ 24.1	79.9	△ 4.9
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 40.0	△ 32.2	4.6	△ 52.5	△ 21.4	90.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	29.4	3.3	19.6	13.6	4.3	△ 15.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.6	△ 1.8	△ 6.3	r 0.0	△ 4.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.11	△ 0.11	△ 0.02	0.00	△ 0.02	△ 0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 0.6	△ 4.1	△ 2.7	△ 2.0	△ 3.9	△ 0.5

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	2017年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.9	△ 10.8	8.6	△ 1.5	25.4	P△16.8
	乗用車新車登録台数	△ 18.7	40.5	△ 14.4	9.6	△ 5.6	3.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	110.6	△ 23.1	△ 19.0	△ 33.1	87.8	△ 31.4
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 13.6	50.8	222.6	△ 72.2	24.0	77.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	2.0	△ 15.4	20.2	△ 19.6	11.7	△ 37.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.8	△ 1.8	△ 1.7	r 3.3	△ 2.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	r △ 0.02	r △ 0.01	r 0.03	r 0.03	r △ 0.03	0.03
	雇用保険受給者実人員	5.8	△ 6.0	△ 5.4	△ 5.1	△ 3.7	2.0

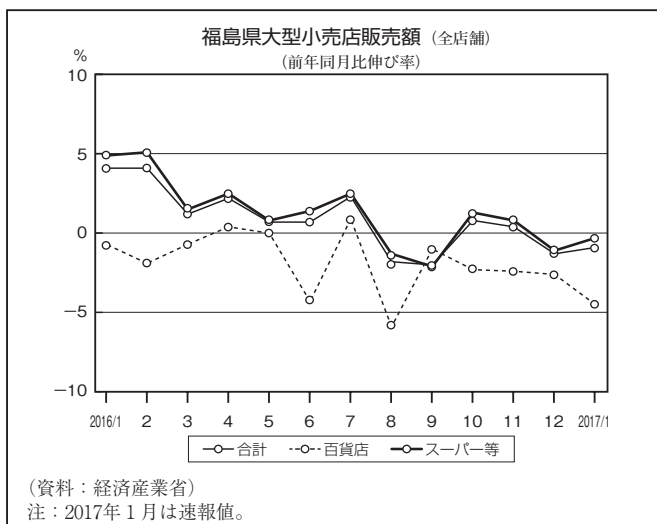
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

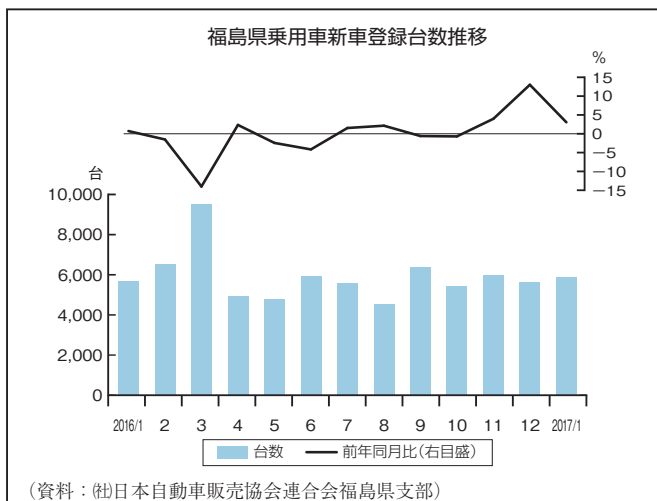
大型小売店：2カ月連続で前年比減

1月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で213億27百万円（前年同月比△0.9%）と2カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△4.5%となった。また、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品などが前年割れしたことから、合計では同△0.3%となった。



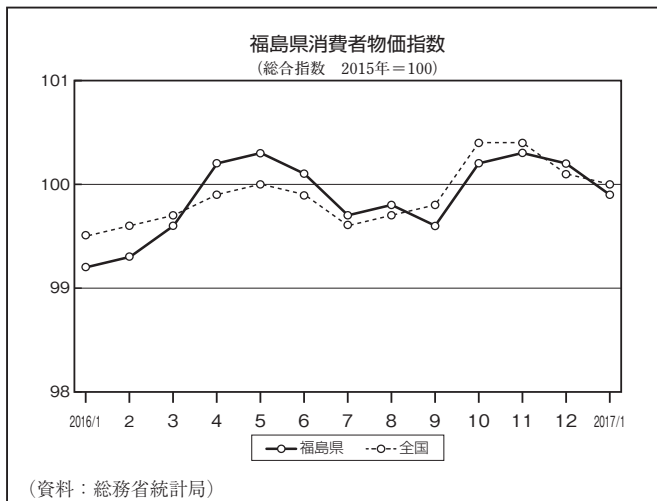
乗用車販売：3カ月連続で前年比増

1月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,854台（前年同月比+3.0%）となり、3カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車は1,892台（同△7.7%）と2カ月連続で前年を下回った。一方、小型車が1,787台（同+15.7%）と3カ月連続、軽乗用車が2,175台（同+3.9%）と2カ月連続でそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比で上昇、前月比で下降

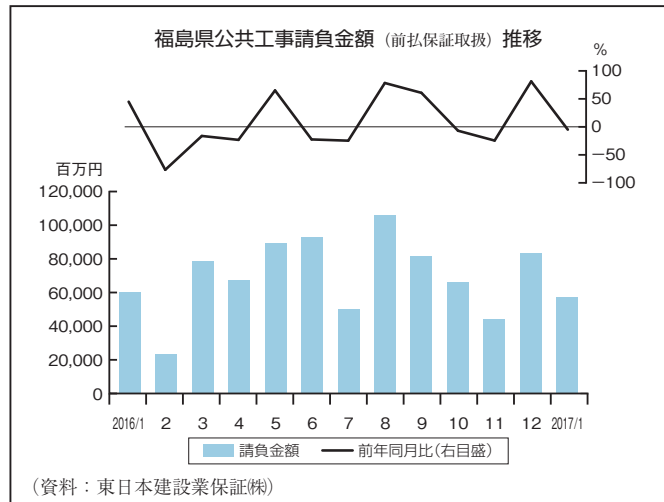
1月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）で見ると、99.9で前年同月比+0.7%、前月比△0.3%となった。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」が97.2（同△6.0%）など3費目で下降したが、「諸雑費」が100.7（同+0.6%）など3費目で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2カ月ぶりで前年比減

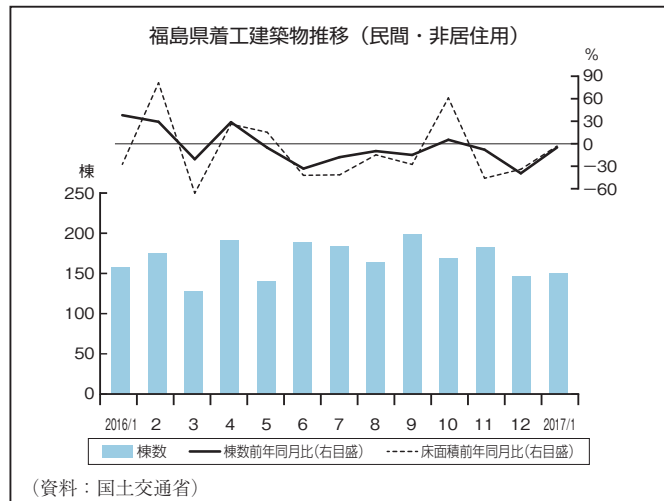
1月の公共工事前払保証取扱は、件数が369件（前年同月比△15.0%）、請負金額が574億16百万円（同△4.9%）、保証金額が317億21百万円（同△25.1%）と2カ月ぶりでいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3カ月ぶりで前年比増

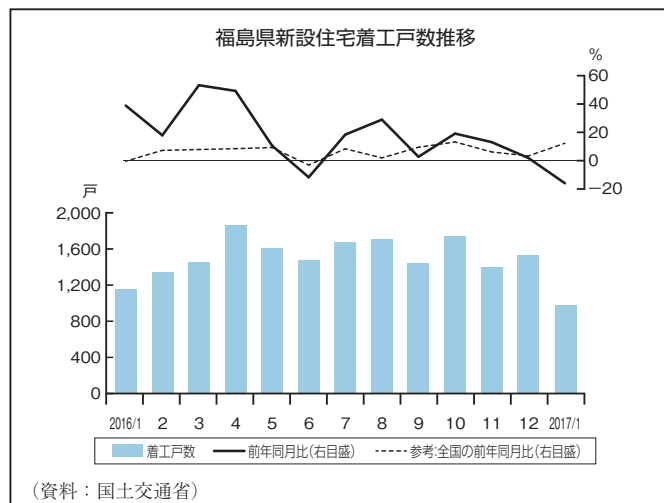
1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が150棟（前年同月比△5.1%）、床面積が57,344㎡（同△3.3%）といずれも3カ月連続で前年を下回った。一方、工事費予定額は223億62百万円（同+90.6%）と3カ月ぶりで前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：7カ月ぶりで前年比減

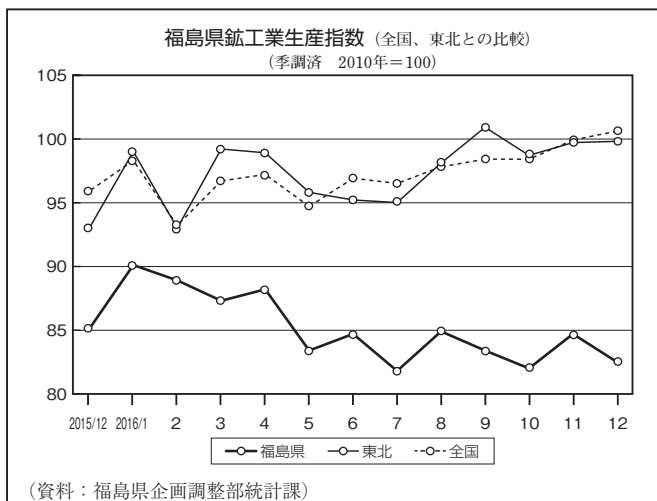
1月の県内新設住宅着工戸数は、975戸（前年同月比△15.3%）と7カ月ぶりで前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が453戸（同+5.8%）と2カ月ぶり、「分譲」が111戸（同+32.1%）と3カ月連続でそれぞれ前年を上回ったものの、「貸家」が407戸（同△36.2%）と7カ月ぶりで前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

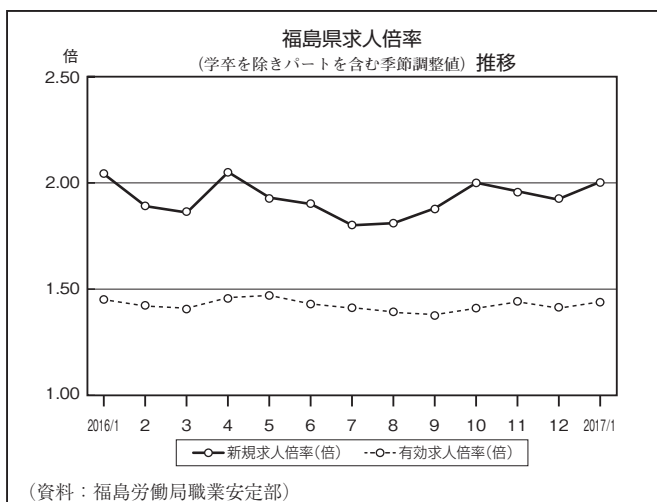
12月の鉱工業生産指数は、82.5（季節調整値）で前月比△2.6%と前月値を下回り、原指数が84.2で前年比△4.3%と前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「その他製品工業」（前月比+3.5%）など8業種で上昇したが、「木材・木製品工業」（同△18.2%）など11業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年比減

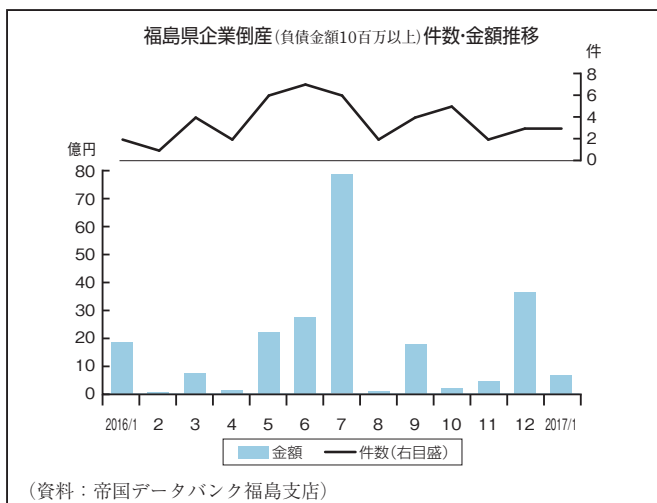
1月の新規求人倍率は、季節調整値が2.00倍（前月比+0.08ポイント）、原数値が1.91倍（前年同月比△0.04ポイント）となった。また、1月の有効求人倍率は、季節調整値が1.44倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が1.53倍（前年同月比△0.01ポイント）となった。一方、1月の雇用保険受給者実人員は5,736人（前年同月比△0.5%）で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数は前年比増、金額は前年比減

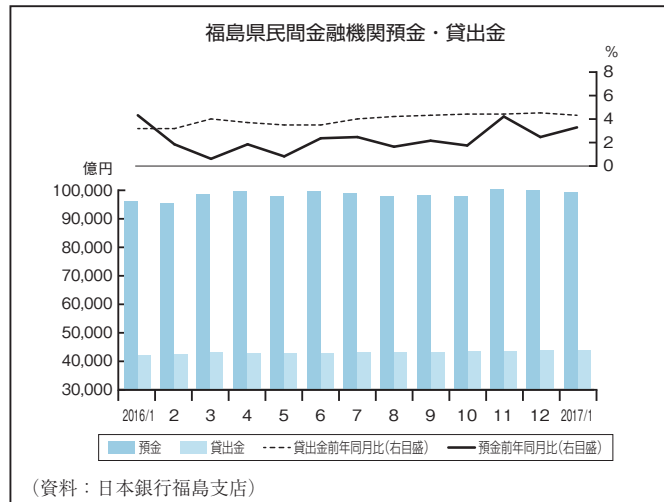
1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比+50.0%）、負債総額が6億50百万円（同△64.8%）と、負債総額は前年を大きく下回った。業種別では、サービス業が2件、製造業が1件だった。



金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

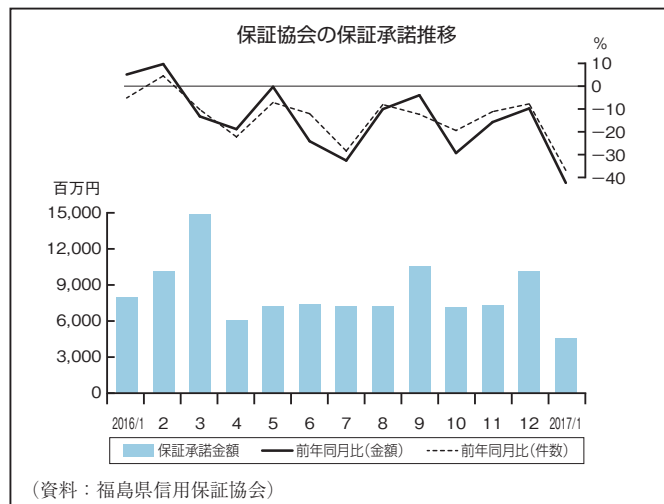
県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の1月末の預金残高は、9兆9,455億円（前年同月比+3.2%）と9年11カ月連続、貸出金残高は、4兆3,998億円（同+4.2%）と3年8カ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

1月の保証承諾は、件数が380件（前年同月比△37.0%）、保証金額が45億61百万円（同△42.6%）となった。また、1末日現在の保証債務残高は、件数37,749件（同△10.2%）、金額3,249億17百万円（同△11.3%）となった。

※福島県信用保証協会の新システム移行のため、1月の代位弁済の実行はなし。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 1月の家電量販店の売上高は、洗濯機などが前年を上回ったものの、冷蔵庫などが前年を下回ったことから、合計では前年を5%ほど下回った。

ホームセンター 1月のホームセンターの売上高は、日用品や工具金物などを中心に前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

旅行 1月の旅行取扱額は、国内、国外とも前年を上回ったことから、合計では前年比で10%以上

増加した。

高速道路 1月の県内自動車道出入口数は、合計で4,759,884台（前年同月比+0.2%）と、4カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）は1,612,423台（同+0.9%）と2年11カ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,290,161台（同+0.2%）と4カ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は346,149台（同+0.6%）と2カ月ぶりでいずれも前年を上回った。一方、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は511,151台（同△1.5%）と3カ月連続で前年を下回った。

福島空港 1月の福島空港国内定期路線の利用状

況は、15,431人（前年同月比△3.2%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は4,232人（同△2.3%）、大阪便は11,199人（同△3.6%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 1月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けなどを中心にフル稼働を続けており、前年並みの堅調な生産を維持している。

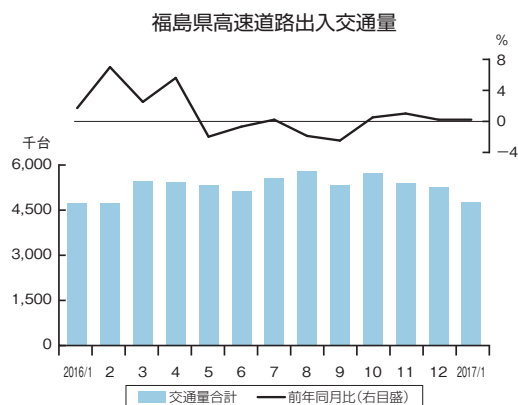
鉄鋼・金属 1月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内外からの受注増などから、前年を10%以上上回る生産水準となった。また、半導体向け電子材も、海外受注が下支えとなり、前年を60%以上上回る生産となった。1月の建機用鋳造品は、中国からの受注が前年を下回ったことなどから、合計でも前年を10%程度下回る生産となった。鋳鋼品の生産は、鉄道車両向けがわずかに増加したものの、船舶向けの減少などにより、合計では前年を15%程度下回った。

輸送用機械 1月の鋳造品は、トラック用では、インドネシアからの受注がやや増えたことなどから、合計では前年を5%程度上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、全体では計画を上回る生産水準を維持している。

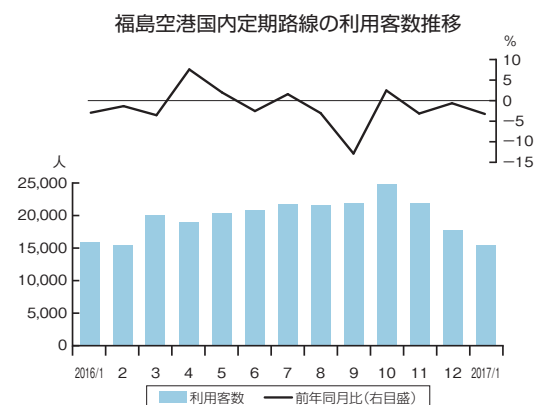
電気機械 1月の電気機械の生産は、変圧器が前年を下回ったものの、配電盤や誘導炉、モーターが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

情報通信機械 1月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局とも前年を下回ったことから、合計では前年比で40%ほど減少した。

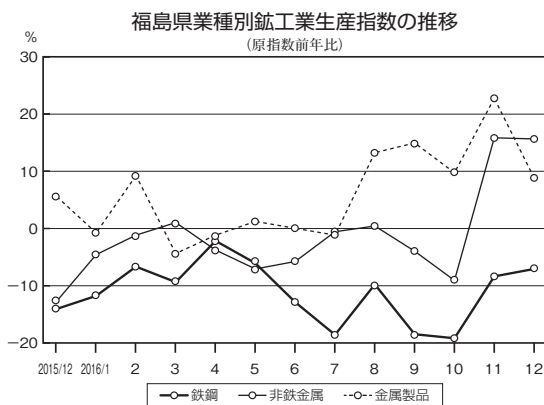
電子部品・デバイス 1月のLSI（大規模集積回



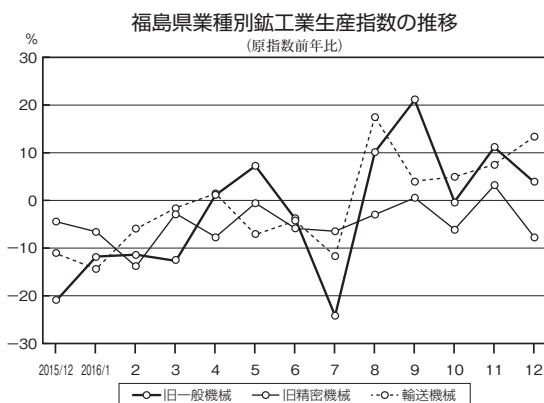
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

路)の生産は、受注量が回復基調で推移していることから、前年を40%程度上回る水準を保っている。

精密機械 1月の医療用内視鏡は、国内、国外とも安定した受注量を確保しており、合計では前年を5%ほど上回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ横ばいで推移していることから、全体では前年並みの生産水準となった。

窯業・土石 1月の生コンクリート出荷量は、全体で108,090m³(前年同月比△14.2%)と11カ月連続で前年を下回った。民需・官公需別にみると、民需は相双と会津を除いた4地区が前年を下回り、合計で同△19.2%となった。また、官公需も白河以外の5地区が前年を下回ったことから、合計で同△23.4%となった。

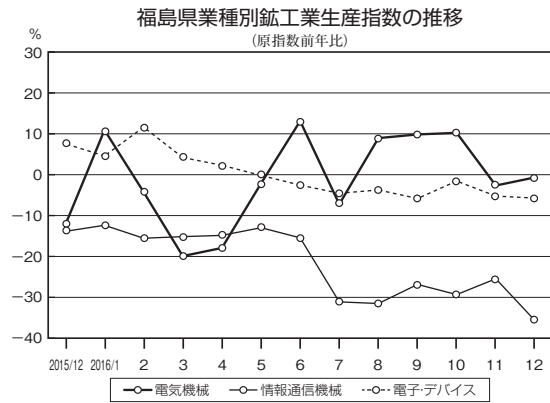
紙・紙加工品 1月の製紙の生産は、ノーカーボン紙、感熱紙とも前年を下回ったことなどから、合計では、前年を20%ほど下回る水準となった。

清酒 1月の清酒移出数量は、812kL(前年同月比△4.0%)と2カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒(特定名称酒以外の酒)が358kL(同△7.8%)と5カ月連続、特定名称酒(吟醸酒・純米酒・本醸造酒)が453kL(同△0.7%)と2カ月連続でそれぞれ前年を下回った。

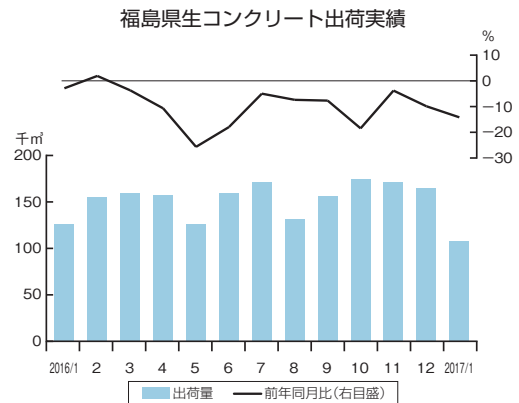
化合繊維物 1月の化合繊維物は、生産量が減少したものの、単価が上昇したことから、生産額では前年をわずかに上回った。

ニット 1月のニットは、春夏物製品の受注量が前年を下回ったことから、生産額も前年を約30%下回った。

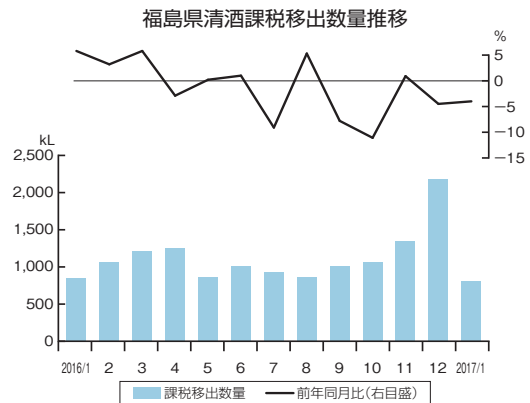
電灯電力 1月の電灯電力販売量は、1,303百万kWh(前年同月比△0.1%)となり、3カ月ぶりで前年を下回っている。



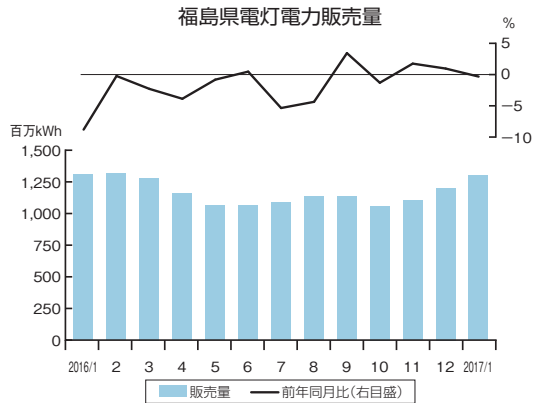
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)